矯正歯科治療における副作用とリスクについて

健康的な歯並びや噛み合わせはたくさんのメリットがありますが、歯列矯正以外の他の治療と同じようにリスクや副作用がある場合があります。ゆうデンタル北仙台クリニックでは、矯正歯科に対するリスクや副作用についてご理解いただいたうえで治療を開始いたします。

- 保険適用外の診療となるため、保険診療よりも高額になります。
- 歯の動き方には個人差があり、場合によっては治療期間が長くなることがあります。
- 矯正装置を装着した後は、数日間歯に浮いたような痛みが出ることがあります。
- 矯正装置が原因で口内炎ができることがあります。
- 歯の移動により歯の根の吸収が起こることがあります。
- 前歯の部分矯正では上下の中心線のずれは解消できないことがあります。
- 就寝中の強い歯ぎしりなどでマウスピースが破損する可能性があります。
- マウスピースのお手入れが必要です。
- 装着したまま糖分の入った飲み物を飲むと虫歯になりやすくなります。
- 歯の食いしばりが強い方の場合、奥歯がかまなくなることがあります。
- 矯正治療中に顎関節症（顎の関節が鳴る、傷む、口が開きにくくなったなど）び症状が出た場合は矯正治療を中止し、大学病院や専門医に紹介することがあります。
- 症状によってはインビザラインのみで治療ができず、補助矯正装置が必要になることがあります。
- 治療の途中でワイヤー矯正への変更が必要になる場合があります。
- 治療完了後は後戻りを防ぐために保定装置の装着が必要になります。
- マウスピースを紛失・破損した場合は再作成が必要になり、別途料金が発生します。
- お約束通りに通院していただけない、また何らかの事情により間隔が空いた場合は治療期間が長引きます。